

平成24年度第4回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会

日 時 : 平成25年1月30日(水) 18:00～19:20

場 所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員 : 8名

出席者 : 7名

佐村 博範(琉大病院)、宮里 浩(那覇市立病院)、照屋 淳(北部医師会病院)、八幡 浩信(中部病院)、川満 博昭(宮古病院)、増田 昌人、仲本 奈々(琉大病院)

陪席者 : 呉屋 葉子(琉大病院)

[報告事項]

1. 平成24年度第3回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について
平成24年度第3回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について承認された。

2. 地域連携クリティカルパス適用件数について

1月25日現在、沖縄県がん診療連携拠点病院3施設においてがん地域連携クリティカルパス適用数が130件であることが報告された。

[審議事項]

1. 沖縄県保健医療計画に係る「がん医療体制に関する医療機関選定要件について」

⇒協議会で胃がんと大腸がんの選定基準について、『消化器病専門医または消化器外科専門医』の所を『または』から『かつ』にしてはどうかと意見があったことが報告され、外科系と内科系の両方がそろう方が良いことと、選定施設に変更はないことから、『かつ』にしてはとの意見があった。また、乳がんの選定基準に手術件数を入れた方がいいのではないかと意見があったが、乳癌WGで協議した結果、WG案で行くことになりそうだと事務局より報告があった。県に報告して客観的に説明できるか、患者がこれを見て受診しても大丈夫なのか。当部会の意見として出すこととなった。

2. 平成24年度事業計画の評価について

⇒事業計画①『八重山・宮古・久米島・北部ではがん診療を行っている医療機関に、院内がん登録を用いて「症例区分(自施設診断のみ、自施設診断・自施設治療、他施設診断・自施設治療など)」を集計し、診療実態を明らかにする。』は、目的となるデータがなかったため、次年度調査を行うこととなった。

⇒事業計画④『がん地域連携クリティカルパス研修会の企画開催について』は、佐村部会長が2月9日に石垣でヤクルトの企画で講演会があるので、地域連携クリティカルパスの紹介も行う予定であるとのことだった。また、今年度中に出来れば院内研修会も行うとのことだった。

⇒事業計画⑦の『胃がん地域連携パスの運用、改訂、評価、各施設の運用強化を行う』

は、目標 100 人で実績が 14 人なのに対して、評価が 5 点なのはおかしいと意見があり、事務局で確認したところ、評価は 1 点の間違いであった。
その他の事業計画の評価については、事務局で出した評価で変更ないとのことだった。

3. 平成 25 年度の事業計画および予算（案）について

⇒平成 25 年度の事業計画について、事務局より、11 個の施策で 24 年度の継続版であるが、追加および変更した方がいい施策があれば意見を頂きたいと依頼あった。

パスの改訂についてはそれぞれの WG で検討することとし、次年度は、私のカルテの充実を図ってはどうかと意見があり、わたしのカルテの A4・A5 の 2 パターンを用意する事やフォローの電子媒体を検討することとなった。

4. 特定非営利活動法人 よりよい地域医療を応援する会の関わりについて

⇒増田委員より、大興沖縄とアステラス製薬が『NPO 法人 よりよい地域医療を応援する会』を立ち上げており、実績づくりのために当部会と共催したいと申し入れがあったことが報告された。そのことについて、当部会の目的に沿ったことを講演して頂くことや、会場費の負担、厚労省から講師を呼んで頂くことなどが出来れば検討する。後日、担当者から佐村部会長に説明に行って頂き、決めることとなった。

5. 次回の開催日程について

平成 25 年 4 月 17 日（水）18：00 を予定していることが報告された。